

第4学年 国語科学習指導案

令和3年6月9日(水) 6校時

4年1組 児童31名

指導者 溝渕 千波

学習指導要領において

○指導事項

【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】

(1) エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

(1) イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

【知識及び技能】

(1) オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

○言語活動

イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたりすることなどを伝え合ったりする活動。

1. 単元名 人物の変化をとらえよう

教材名 「走れ」

2. 単元について

○単元観

本単元では、重点指導項目として、学習指導要領における〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」(1)エ「登場人物の気持ちの変化や、性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。」及び(2)イ「詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動」を取り上げ指導する。児童はこれまで、場面ごとに出来事を読み取り、物語の仕掛けを見つける学習や、中心人物の会話や行動に着目し、気持ちを読み取る学習などを行ってきた。しかし、登場人物の気持ちの大きな変化やその理由について深く考えるには至っていない。そこで、本単元では、物語の中で起こる中心人物の気持ちの大きな変化とその理由を想像しながら読む力をつけることを主なねらいとしている。また中心人物「のぶよ」の気持ちがどのように変化したのか、なぜ変化したのかを考え、自分が考えたことについて、作中のどの部分から、なぜそう考えたのかということを確認して伝えることや、読み取ったり考えたりしたことを生かしながら、友達に考えを伝えるために書いたり話したりするという自分の考えを伝え合う言語活動を設定していくことができると考える。

本教材は時や場所を表す言葉から、場面の移り変わりを捉えやすい教材である。また中心人物ののぶよの気持ちが心内語で可視化されている部分が多く、心情を表す言葉が多いことから、中心人物の心情の変化を読み取りやすい教材である。

○児童観

本学級の児童は、3年の単元「はりねずみと金貨」で、物語の中で起こる出来事を読み取る学習を行

い、「サーカスのライオン」では、人物の気持ちの変化に気をつけて読む学習を行ってきている。4年の4月には「こわれた千の楽器」で場面の様子や人物の気持ちが伝わるように音読練習を重ね、グループで工夫して音読発表に取り組んだ。その際、登場人物の気持ちの変化は理解できていたが、会話文や叙述を基に登場人物の心情を考えたり、読み取ったりすることが難しい児童の姿も見られた。

また自分の思いや考えを発言することに消極的な児童も少なくない。

○指導観

一次では、これまで学習した物語文や読書経験を振り返りながら、心に残った登場人物について触れ、新たな物語文への興味関心を高めていきたい。また児童の初発の感想（なぜ？、どうして？）をもとに学習の組み立てを考えていく。単元のゴールには「ビフォーアフターカード」を作成することを確認し、児童が相手意識・目的意識をもって意欲的に学習に臨めるようにしていきたい。【自己決定】

二次では、場面ごとに起こった出来事を捉え、中心人物「のぶよ」の行動や会話に着目させながら、気持ちの変化を捉えられるようにしていきたい。その際、言葉の意味を丁寧に考え、おさえていくことで、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることにも気づくようにしていきたい。更に、中心人物がどんな出来事（事件）によって、どのように変容したのかを捉えさせるために、本時では、図や矢印を使って、「変化前」「変化後」の姿と、その「変化の原因」を図式化し、変わったきっかけは何かを考えさせることで、なぜ変化したかを読み取り、本文の「会話文」「行動」「様子」などに着目させながら根拠をもって自分の考えを伝えられるようにしていきたい。【自己存在感】

三次では、「走れ」の「ビフォーアフターカード」を作成し、友達と交流し感想を伝え合う。その後学習したことを活用して、新たに下学年に向けて「ビフォーアフターカード」を作成し、紹介する活動につなげ、単元の振り返りを行う。【共感的人間関係】

3. 単元の目標

- (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。[知識及び技能] (1) オ
- (2) 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。
[思考・判断・表現] C (1) イ
- (3) 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。[思考・判断・表現] C (1) エ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。[学びに向かう力、人間性等]

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。</p> <p>【(1) オ】</p>	<p>・「読むこと」において登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 【C (1) イ】</p> <p>・「読むこと」において登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。【C (1) エ】</p>	<p>・進んで中心人物の気持ちの変化について具体的に想像し、考えたことを伝え合おうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（全11時間）

時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	○学習の見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> • これまでの学習した読書経験をふり返り、学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しが持てるようにする。 • 初発の感想の中から学習課題を取り上げ、全体で考えていくことを確認する。 	
2	○「走れ」を読み、初発の感想を交流する。		
3	○四つの場面に分け、起こった出来事を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> • 物語の出来事を確認した上で、登場人物の気持ちの変化を読み取ることができるようにする。 • 教材文を掲示し、登場人物の変化について全体で確認できるようにする。 • 行動や会話、様子、挿絵を手がかりに読み取りができるようにする。 • のぶよの気持ちが変わる前後を、走ることに對する気持ちが表れている部分に着目することで、どこで変化したのかを考えることができるようにする。 • のぶよが変化した理由を叙述から想像を広げて発言できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 人物の行動や様子、気持ちや性格を表す語句を話や文章の中で使っている。 〔知識・理解〕（ノート・発言） • 場面の移り変わりに注意しながら物語全体を通して、中心人物の気持ちの変化とその理由に着目して読んでいる。 〔思考・判断・表現〕（ノート・発言） • 進んで中心人物の気持ちの変化について具体的に想像し、考えたことを伝え合おうとしている。 〔思考・判断・表現〕（ワークシート・発言）
4	○場面ごとの出来事を捉え、登場人物の気持ちを読み取る。		
5 6	○それぞれの人物の行動や会話を手がかりに、中心人物の気持ちを考える。		
7 本時	○中心人物の気持ちが大きく変化したのはどこかについて、自分の考えを伝える。		
8	○中心人物がどのように変化し、なぜ変化したのかについて考え、登場人物の人間関係図を書く。		
9	○「ビフォーアフターカード①」にまとめ、友達と交流し感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> • カードに自分の考えをまとめ、初発の感想と比べることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、「ビフォーアフターカード」の中で使っている。 〔主体的に学習に取り組む態度〕（カード）
10	○「ビフォーアフターカード②」にまとめる。		
11	○3年生に紹介する。		

6. 本時の指導 (7/11)

(1) 目標

○中心人物の気持ちがどこで大きく変わったのか、自分の考えを伝えることができる。

(2) 準備物

○掲示用拡大教材文・移動黒板・ホワイトボード・ワークシート (児童用)

(3) 学習の展開

		学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導 入	つ か む ・ 見 通 す	1 前時の学習を想起する。 2 <u>本時の課題を知る。</u> (自己決定) どこで? のぶよの気持ちが大きく変わったところを見つけて伝えよう。 3 学習の流れを確認する。 ・読みの視点 ・気持ちが変わる前後	○のぶよの気持ちの振り返りをする。 ○人物の行動や様子、会話、 <u>に注目して</u> 考えることを確認する。	(自己存在感)
展 開	解 決 活 動	4 のぶよの気持ちがどのように変化したのかを読み取る。 ・三場面を音読する。 (自己存在感) ・ <u>個人思考 (ワークシート)</u> ・ペアで伝え合う。 (共感的人間関係・自己決定) ・どのように変化したかを発表する。 5 三場面のどの部分がきっかけとなりのぶよの気持ちが変わったのかを確かめる。 ・ <u>個人思考</u> ・ <u>全体討議</u> (共感的人間関係・自己存在感) 6 まとめをする。 のぶよは、けんじとお母ちゃん二人におうえんされたことで、気持ちが大きく変わった。	○のぶよの走ることに對する気持ちが表れている部分に線を引き、気持ちがどのように変わったのかをワークシートにまとめる。 ・友達の考えでよいと感じた部分を書き加えることを確認する。 ○考えの理由を伝えられるようにする。 ○挿絵ののぶよの表情にも注目し走ることが楽しいと思う気持ちに変化していることに気付けるようにする。	思 中心人物の気持ちがどこで、変わったのかを考え、伝えることができる。
終 末	振 り 返 り	7 ふりかえり	○めあてに對する振り返りを行い、共有する。	

(4) 板書計画

6/9 (水)

学習の流れ
○のぶよの気が大きくなったところを
ろはどこかを考える。
・音読
・一人で
・ペアで
・全体で
○まとめ
○ふりかえり

③のぶよは、けんじとお母ちゃんの二人におうえんされたことによって、気持ちが大きく変わった。

のぶよの気持ちが変わった後

・ほこらしい
・すわつと軽くなる
・どこまでも走れる
気がした

のぶよの気持ちが変った前

・ゆううつ
・体が重い
・走りたくない

のぶよはどこで変わったのか

・「姉ちゃん、行けっ！」
・「のぶよ、行けっ！」
・「走れ！そのまんま、走れ！」

「走れ」

村中 李衣

どこで？

④のぶよの気持ちが大きく変わったところを見つけ、伝え合おう。